

【令和8年度大鰐町一般会計当初予算（案）の概要】

令和8年2月

予算総額：5,936百万円（△90百万円、1.5%減）

＜うち一般財源4,407百万円（262百万円、6.3%増）＞

※（ ）内は、前年度当初予算との比較である。以下同じ。

令和8年度の当初予算は、「第6次振興計画」の4年目となることから、計画に位置付けられる主要施策の着実な推進、また「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく人口減少克服・地方創生に向けた取組みに重点を置いた予算編成とした。

第1 歳入

- ・繰入金については、財政調整基金及び公共施設等整備基金繰入金の増等により、346百万円の増となった。
- ・諸収入については、デジタル基盤改革支援補助金やスポーツ振興くじ助成金の減等により、272百万円の減となった。
- ・地方交付税については、令和7年度国勢調査による人口減の影響を鑑みた普通交付税の減により、74百万円の減となった。
- ・国庫支出金については、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金や社会保障・税番号制度システム整備費の減等により、34百万円の減となった。
- ・町債については、国民スポーツ大会事業債の減等により、67百万円の減となった。

1 自主財源：1,321百万円〔構成比22.3%〕（74百万円、5.9%増）

- (1) 町税：624百万円（5百万円、0.8%増）
- (2) 繰入金：587百万円（346百万円、143.7%増）
- (3) 諸収入：38百万円（△272百万円、87.8%減）

2 依存財源：4,615百万円〔構成比77.7%〕（△164百万円、3.4%減）

- (1) 地方消費税交付金：237百万円（28百万円、13.4%増）
- (2) 地方交付税：2,963百万円（△74百万円、2.4%減）
- (3) 国庫支出金：605百万円（△34百万円、5.3%減）
- (4) 県支出金：377百万円（△12百万円、3.0%減）
- (5) 町債：334百万円（△67百万円、16.7%減）

第2 歳出

- ・人件費については、給与改定により、56百万円の増となった。
- ・公債費については、長期債償還金の増により、29百万円の増となった。
- ・物件費については、自治体情報システム利用料や委託料等の全体的な経費増により、6百万円の増となった。
- ・補助費等については、久吉ダム水道企業団補助金の増や下水道事業会計補助金の増、地域活性化起業人推進事業負担金の増等により、41百万円の増となった。
- ・繰出金については、診療所事業特別会計繰出金等が増となったことから、25百万円の増となった。
- ・普通建設事業費については、国民スポーツ大会に係る工事費の減等により、304百万円の減となった。

1 義務的経費：2,334百万円〔構成比39.3%〕（110百万円、5.0%増）

- (1) 人件費：960百万円（56百万円、6.2%増）
- (2) 扶助費：744百万円（25百万円、3.4%増）
- (3) 公債費：629百万円（29百万円、4.9%増）

2 投資的経費：467百万円〔構成比7.9%〕（△304百万円、39.5%減）

- (1) 普通建設事業費：463百万円（△304百万円、39.7%減）

3 その他の経費：3,125百万円〔構成比52.6%〕（104百万円、3.4%増）

- (1) 物件費：882百万円（6百万円、0.7%増）
- (2) 維持補修費：210百万円（41百万円、24.2%増）
- (3) 補助費等：986百万円（41百万円、4.4%増）
- (4) 積立金：104百万円（△9百万円、7.9%減）
- (5) 繰出金：942百万円（25百万円、2.7%増）

※ 詳細は、別紙『各課予算計上の主なるもの（細部説明資料）』参照